

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1998年(平成10年)1月25日 No.1080

目次

新春特集 ロシア政財界の戦国地図を読む(2)	
新興財閥はロシア経済を救えるか.....	坂口泉 1
キーパーソン.....	10
チェルノムイルジン首相の権限、一段と強化/10	
統計速報.....	11
データフラッシュ/11	
ホームページ拝見(14) ロシア新興財閥特集.....	12
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	12

新春特集 ロシア政財界の戦国地図を読む(2) 新興財閥はロシア経済を救えるか

はじめに

新春特集としてお送りしている「ロシア政財界の戦国地図を読む」。前回の政界編に続いて、今回は経済界の動向を、とくにいわゆる「新興財閥」に焦点を充てて分析する。

最近、当会には、ロシアの新興財閥(あるいは金融・産業グループ)についての問い合わせが、かなり頻繁に寄せられるようになってきている。筆者は、それらの問い合わせに対応するうちに、ロシアの新興財閥が過大評価されているのではという印象をもつようになった。恐らく、その核となっている大手商業銀行の「企業買収の技術の高さ」が、過大評価を生む原因となっているのであろう。

確かに、彼らは、企業買収術には長けている。しかし、買収した企業のリストラを行う技術については、まだまだ、未知数と言わざるをえない。財閥の内部的問題、あるいは、ロシアのマクロ経済の問題などが複合的に作用し、傘下企業の再建という課題の進捗状況が思わしくないとの印象が強い。つまり、買収はしてみたものの、その後が続かないという状況が生じている。

以下では、そのような状況が生じた背景にあるもの、および、新興財閥がロシア経済の復興のために果たさねばならない当面の課題について考察してみたい。